

抗菌、抗ウイルス加工剤  
**パラファイン ANV-150**  
(PARAFINE ANV-150)

パラファイン ANV-150 は、セルロース繊維及び、ポリエステルなどの合成繊維、ウールに対して抗ウイルス、抗菌防臭、抗カビ性を付与する加工剤です。

通常のパディングおよび吸尽処理によって耐久性のある優れた性能を示します。

銀系や亜鉛系無機化合物のように、製品加工でのムラ付きや加工中の沈降の心配の無い作業性の良い加工剤です。

低使用量で、耐久性の有る性能を付与することが出来ます。

< 性 状 >

外 観 : 無色～微黄液体

主 成 分 : 有機系化合物

P H : 4±1

イオン性 : カチオン

溶 解 性 : 水に溶解

< 使用方法 >

(パディング法) 繊維に対して 5～30g/l の使用量。

乾燥後、160℃×2分程度の熱処理

( 浸 漬 法 ) 1～5%o.w.f. の使用量。

処理温度 セルロース繊維:40℃～60℃、合繊:80℃～130℃

浴比 1:10～25

時間 15分～30分

パラファインANV-150の特徴

1. 綿等のセルロース繊維、混紡繊維、合成繊維等の種々の繊維に対して効果が有ります。
2. 抗ウイルス性、抗菌防臭、抗カビ性を付与します。
3. 通常のパディングおよび吸尽処理によって、洗濯後も優れた効果を発揮します。
4. 製品加工でのムラ付きや、加工中の沈降がありません。
5. 少ない使用量でも、耐久性が得られます。

## 抗菌性評価例

### 【パディング処方】

素材：綿100%布、ポリエステル100%布

パラファイン ANV-150 1%soln.

		静菌活性値
綿	初期	4.0以上
	HL-50	4.0以上
PET	初期	4.0以上
	HL-50	4.0以上

### 〔加工条件〕

Pad → 絞り率 { 綿布 86% → 乾燥110°C×3分 → 熱処理160°C×2分  
PET 100%

### 【吸尽処方】

素材：ポリエステル100%布

パラファイン ANV-150 1%o.w.f.

	静菌活性値
初期	4.0以上
HL-50	4.0以上

### 〔加工条件〕

浸漬処理 { 浴比 1:25 } 脱水 → 乾燥 110°C×2分  
{ 130°C×30分 }

### <抗菌試験> 繊維評価技術協議会に準拠

試験菌：黄色ブドウ球菌

合格値：静菌活性値 2.2以上で抗菌性合格

洗濯条件：JIS L-0217 103法(JAFET 標準洗剤使用)

## 抗ウイルス性評価例

### 【パディング処方】

素材：綿100%布

パラファイン ANV-150 10%soln.

### 〔加工条件〕

Pad → 絞り率 98% → 乾燥110℃×3分 → 熱処理160℃×2分

### 〔抗ウイルス性測定結果〕

測定機関：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター

試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス(H3N2)

	ウイルス感染価 常用対数平均値(注1)			抗ウイルス性
	接触直後	2時間放置後		
		無加工試料①	加工布②	
A型インフルエンザウイルス 洗濯10回後	7.17	6.78	3.27	合格

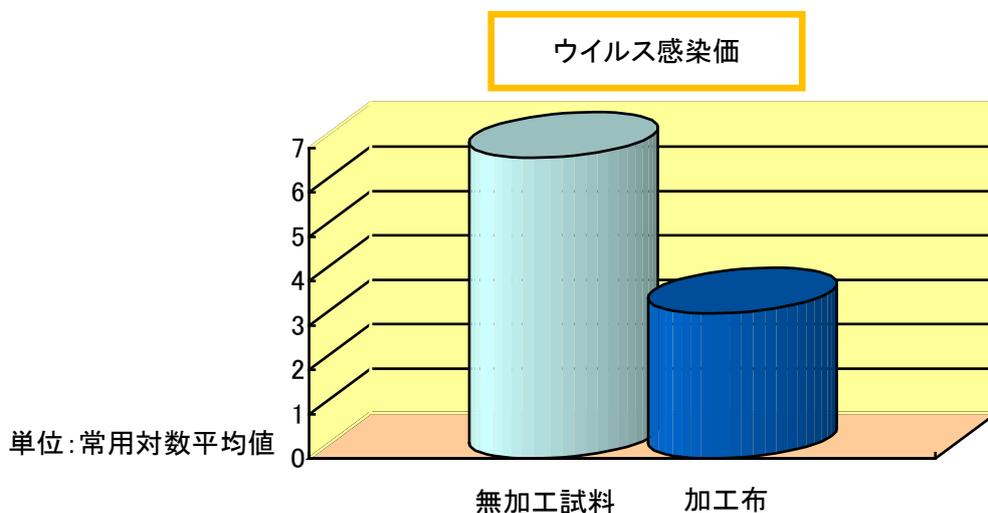
$$\text{抗ウイルス有効性} = \text{①} - \text{②} \quad (>3.0)$$

(注1)PFU: plaque forming units

洗濯条件：JIS L-0217 103法(JAFET標準洗剤使用)

### 〔試験方法：SEKの抗ウイルス試験に準拠〕

- (1)試験ウイルス懸濁液を調整する。
- (2)各検体に試験ウイルス懸濁液を0.2mL接種する。
- (3)25℃、2時間放置後、洗い出し液を20mL加え、ポルテックスミキサーで攪拌し、検体からウイルスを洗い出す。
- (4)ブラック測定法にてウイルス感染価を測定する。



## 抗かび性評価例

試料:ポリエステル 100%布

### 〔加工処方及び結果〕

		(% soln.)	抗カビ活性値 抗かび活性値合格基準 $\geq 2.0$	
			クロコウジカビ	アオカビ
パラファイン	ANV-150	3	2.7	3.8
パラゾール	GH-S	1		

### 〔加工条件〕

Pad → 絞り率 100% → 乾燥 110°C × 3分 → 熱処理 160°C × 2分

測定機関:一般財団法人 カケンテストセンター

試験方法:抗かび性定量試験方法(一般財団法人繊維評価技術協議会法, ISO 13629-1:2012 準用)

供試菌:クロコウジカビ・Aspergillus niger NBRC 105649

アオカビ・Penicillium citrinum NBRC 6352

#### 1. クロコウジカビ・Aspergillus niger

試料	ATP mol 量の常用対数値		抗かび活性値	合否
	胞子液接触直後	42 時間培養後		
ANV-150	-12.0	-12.1	2.7	合格
綿標準白布	-12.0	-9.1	—	—

#### 2. アオカビ・Penicillium citrinum

試料	ATP mol 量の常用対数値		抗かび活性値	合否
	胞子液接触直後	42 時間培養後		
ANV-150	-12.4	-13.2	3.8	合格
綿標準白布	-12.4	-9.4	—	—

評価基準:FS(抗かび活性値) =  $(F_b - F_a) - (F_c - F_o) \geq 2.0$

$F_a$ : 標準布の試験かび接種直後の3検体の生かび ATP 量の常用対数値の平均値

$F_b$ : 標準布の42時間培養後の3検体の生かび ATP の常用対数値の平均値

$F_c$ : 抗かび加工布の42時間培養後の3検体の生かび ATP 量の常用対数値の平均値

$F_o$ : 抗かび加工布の試験かび接種直後の3検体の生かび ATP 量の常用対数値の平均値・

試験成立条件:  $F(発育値) = F_b - F_a \geq 0.5$

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分に御試験の上、御使用下さい。  
取扱いに関しましてはSDSを御参照下さい。